

## 機 械 警 備 業 務 処 理 細 目

機械警備業務処理要領の4（3）に係る事項については、この細目の定めるところにより、業務を処理しなければならない。

### 1 警備エリアの設定

- (1) 警備エリアは、主要室エリアと共用エリアの2区分とする。
- (2) 主要室エリアは、金品、貴重品、危険物など管理を要するものが置かれている室とする。
- (3) 共用エリアは、職員玄関、1階廊下、階段（1階から2階及び2階から3階）及び非常階段出入口（2階以上）とする。
- (4) 各委託学校の主要室及び警備エリア区分については、別表のとおりとする。

### 2 送信機器の設置

送信機器は次の機能を備えるものとする。

- (1) 警報装置作動開始及び解除の信号の送信
- (2) 各警備エリアで感知した異常についての信号の送信
- (3) 火災発生感知についての信号（自動火災報知機の移報信号による）の送信
- (4) ガス漏れ感知についての信号（ガス漏れ警報機の移報信号による）の送信
- (5) 施設内各種設備警報盤からの異常についての移報信号の送信
- (6) 警報装置及びセンサーの破壊、故障、配線の切断等による不通等の異常を監視する機能
- (7) 各警備エリアにおいて異常がある場合、警備開始等の通信回線のセットを受け付けない機能

### 3 受信装置の設置

受信機器は、少なくとも送信機器により送信されてくる上記2の信号の種別の判別ができるものでなければならない。

### 4 警備センサーの設置

各警備エリアを監視する警備センサーについては、少なくともパッシブセンサー（熱感知センサー）を設置することとし、各警備エリアの全域について侵入等を感知できるようにしなければならない。

### 5 職員玄関の電子錠化

- (1) 職員玄関については、外扉又は内扉のどちらかに電子錠を設置して施錠及び開錠を行うものとする。なお、扉の形状等によって、電子錠化できない場合は、この限りではない。
- (2) 電子錠は少なくとも次の機能を備えるものとする。
  - ア ①扉が閉まると自動的に施錠、②扉が閉まっても自動施錠しない、等の切り替えを行うことができる機能。
  - イ 電子キーやサムターン等による直接操作のほか、事務室及び職員室から遠隔操作による施錠及び開錠を行う機能。
- (3) 各委託学校の電子錠設置状況等は、次の区分により別表のとおりとする。
  - a. 外扉を電子錠化する。
  - b. 内扉を電子錠化する。
  - c. 電子錠化しない。

### 6 出入管理機器の設置等

- (1) 出入管理機器は、出退勤時等に警備会社への通信回線のセット・解除のほか、職員玄関の電子錠の施錠・開錠及び警備用キーボックスの開閉を行うために設置するものとする。
- (2) 出入管理機器は、共用エリアの警備センサーと職員玄関の電子錠を制御するために1台、主要室エリアと警備用キーボックスを制御するために1台設置することとする。
- (3) 出入管理機器は少なくとも次の機能を備えるものとする。

ア 非接触カード方式（同等機能以上のもの。テンキー式及び鍵式は不可。）により操作を行う機能。

イ 通信回線のセット・解除と職員玄関の施錠・開錠又は警備用キーボックスの開閉を別個に操作できる機能。

なお、1台の出入管理機器で上記の操作を行うことができない場合は、警備センサー用、職員玄関電子錠用及び警備用キーボックス用としてそれぞれ1台ずつ出入管理機器を設置するものとする。

ウ 通信回線のセット・解除の操作について、操作を行った電子キーの特定ができ、操作記録等を警備会社で管理できる機能。

(4) 共用エリアの警備センサーと電子錠を制御する出入管理機器の設置箇所については、次の区分により別表の箇所のとおりとし、屋外に設置する場合は、特に機器の誤作動等が生じないような方策（格納ボックスの設置など）を講じなければならない。

- a. 屋外に設置する。
- b. 風除室内に設置する。
- c. 内扉より校舎内（下足室等）に設置する。

#### 7 警備用キーボックスの設置

(1) 警備システムと連動させて破壊、故障その他の異常の有無について監視するとともに、出入管理機器で開閉できるキーボックスを次の区分により別表の箇所に設置するものとする。

- a. 風除室内に設置する。
- b. 内扉より校舎内（下足室等）に設置する。
- c. 設置しない。

(2) キーボックスは、5本程度の鍵を収納できるものとする。

(3) キーボックスを警備システムと連動させることができない場合は、同等程度の安全が確保できる方策を講じなければならない。

#### 8 電子キーの設定

(1) 電子キーは、原則カードキー（ＩＣカード）又はタグキー（非接触型操作キー）とする。

(2) 原則１種類とし、上記５から７のすべての操作に対応するものとする。

(3) 委託学校に対して貸与する枚数は別表のとおりとする。

#### 9 エリア監視盤の設置

(1) 各警備エリアに設置した警備センサーの監視状態を表示し、警備センサーが異常を感知した箇所を特定することができるものとする。

(2) エリア監視盤は、下足室付近等操作に適した場所に設置することとする。